

工学研究院に寄附分野 「バイオマスコミュニティプランニング分野」を開設

～産官学連携により、持続可能な地域コミュニティ計画を目指す～

【概要】

このたび北海道大学は、廃棄物等及びバイオマス資源の循環・エネルギー利用を通じて、持続可能な地域コミュニティを計画するための技術・社会システムを、産官学の連携で開発・提案することを目的として、大学院工学研究院に寄附分野「バイオマスコミュニティプランニング分野 (Lab. of Bio-Com.P)」(以下「本分野」)を開設します。

【開設の主旨及び研究内容】

人口減少社会、超高齢化社会の進行により、地域経済やインフラの衰退が避けられません。一方、地球温暖化や気候変動に対する緩和・適応策や防災・減災対策、再生可能エネルギーの普及、社会福祉・教育政策が求められており、持続可能な社会を形成していくためには地域(コミュニティ)の役割がますます重要となると考えられます。このような地域の課題を、地域の廃棄物等やバイオマス資源の利活用を通じて解決することを目的に、本分野では以下の研究を行います。

- (1) 持続可能なバイオガス事業の全国展開の検討
- (2) 次世代のバイオマスエネルギー事業戦略の検討
- (3) AI 及び農林水産業等との異分野連携による新規プロジェクトの創出
- (4) 最終処分システム(前処理・廃棄物とバイオマスの混焼・最終処分)を組み込んだ広域・異種連携型事業の提案
- (5) 国際事業展開に向けた基礎的研究と連携方策の検討

本分野では、関連企業や関連自治体とも連携し研究を推進するとともに、定期的にセミナーやシンポジウムを札幌、東京で開催し、最先端の情報の提供や本分野の研究進捗状況を報告します。

また、本分野の活動は、今年度より北海道大学でスタートした「ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点構想」の活動としても位置付けられています。

【寄附分野の概要】

- 1) 名称：北海道大学大学院工学研究院環境創生工学部門
バイオマスコミュニティプランニング分野
- 2) 人員構成：客員教授1名、特任助教1名
- 3) 設置期間：2018年10月1日～2021年9月30日(3年間)
- 4) 寄附社名：いであ株式会社、岩田地崎建設株式会社、応用地質株式会社、株式会社大原鉄工所、小川建設工業株式会社、鹿島建設株式会社、株式会社コーンズ・エージー、大成建設株式会社、株式会社土谷特殊農機具製作所、日立セメント株式会社、八千代エンジニアリング株式会社(計11社。五十音順)

お問い合わせ先

北海道大学大学院工学研究院 環境創生工学部門 教授 石井一英（いしいかずえい）

T E L 011-706-7284 F A X 011-706-7287 メール k-ishii@eng.hokudai.ac.jp

U R L <http://labs.eng.hokudai.ac.jp/labo/smcsp/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp